

総合 計画 体系	政策名	V 賑わいあふれる雲南市 《産業・雇用》	施策主管課	商工観光課
			施策統括課長	中村 清男
	施策名	35 観光の振興	関係課	政策推進課,地域振興課,事業管理課

1. 施策の目的と指標

目的	①対象(誰、何を対象としているのか)	対象指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
	目的	市外の人	A 市外人口	千人	実績	127,990	128,015	127,758			
見込							126,871	126,564	126,213	125,821	
B			実績								
			見込								
C			実績								
			見込								
②意図(どのような状態にするのか)		成果指標		単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
		A)雲南市を訪れてもらう。 B)市内で消費してもらう。	A 観光入込客数	万人	実績	88.4	93.6	95.0			
B 観光消費額			百万円	実績	3,846	3,771	※未確定				
				目標		(85)	92.0	95.0	97.0	100.0	
C				実績							
D			実績								
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	A)雲南市を訪れる人を増やすためには、観光入込客が増えることが必要であると考えた。 B)市内で消費してもらえば、観光消費額が増えると考え、島根県の観光消費額調査結果から観光入込客率により按分して算出することとした。										
成果指標の測定企画 (実績値の把握方法)	A)島根県観光動態調査(毎年)と市独自調査による B)島根県観光動態調査の観光消費額調査結果を元に、商工観光課で按分試算。										
目標設定とその根拠 (基本計画策定時)	A)国が観光立国を目指しており、古事記編纂1300年記念や出雲大社遷宮、中国横断自動車道尾道松江線の開通、尾原ダムの完成など、国、県の動向により県全体の観光動向は好転要素が多い。成行値は微増の傾向と予測する。目標値は、広域連携の推進などの様々な観光振興策により、H20実績を勘案した上で毎年2、3万人程度増加させH26年100万人とする。 B)今後の消費単価が上がる要素は考え難い。成行値は前年実績から換算し、観光入込客数に比例した額とする。目標値においても同様に、観光入込客数に比例した額とする。										

2. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
① 情報発信の推進	市外の人	観光情報を得てもらう。	観光協会HP累計アクセス件数	件	実績	-	-	(推計) 62,000			
② 観光資源の開発・充実	市外の人	市内で消費してもらう。	観光消費額	百万円	実績	3,846	3,771	※未確定			
③ 受け地づくりの推進	市外の人	受け入れる。	観光ガイド実績、観光タクシー実績	人	実績	210	1,000	2,200			
④					実績						
⑤					実績						

3. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	住民(事業所、地域、団体)の役割	行政(市、県、国)の役割
①	●地域の価値や知識を身につける。 ●観光客に対するおもてなしの気持ちをもって接する。	●雲南市の情報発信に努める。 ●他市町村と連携し、広域的観光振興を図る。 ●観光客の受け入れ体制を整え、充実させる。
②	A)施策を取り巻く状況(対象や根拠法令、社会情勢等)は、今後どのように変化するか?(本年度を見越して) ○石油価格が観光動態に悪影響を及ぼしている。○島根県では古事記や風土記など、神話を題材とした観光振興の機運が高まっており、継続的な展開が求められている。○尾道松江線がH25年春に開通予定であり、国道54号沿線の衰退が危惧される反面、高速道路の活用による入込客数の拡大が期待される。○市有観光施設の老朽化が進んでいる。○全国的にアジアからの観光客が増加傾向にある。	B)この施策に対して、住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ○尾道松江線を活用した観光振興策を求められる反面、国道54号沿線の衰退を危惧する声がある。 ○神話や銅鐸、たたら、桜、さくらおろち湖など地域資源を積極的に活用した観光振興策による交流人口の拡大、産業の振興に対する意見・期待がある。

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べた成果水準)	
<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。	背景・要因 ○島根県観光動態調査の結果では、島根県全体では観光入込客数は3.2%の増加率を示している。(安来地域、雲南地域、出雲地域、浜田地域、益田地域では増加傾向を示し、松江地域、大田地域、隠岐地域では減少している)雲南市の独自調査の結果でも同様に伸びを示しているため、総体的に比較し、ほぼ同水準と判断する。

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

時系列での比較(成果水準の推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	背景・要因 ○雲南市独自調査の結果、観光入込客数は増加傾向にあるため、成果としてはどちらかと言えば向上したと考える。

5. 施策の振り返り評価

施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度)	
<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	背景・要因 ○パワースポットや神話への関心の高まりなどの社会的背景に合わせ、神々の国島根プロジェクト事業や雲南市の観光施策を展開したことが観光入込客数の増加につながっている。

基本事業	取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業)
① 情報発信の推進	・広島地区観光情報発信事業実行委員会参画事業や観光宣伝事業、広島ふるさとフェアへの参加などによる広島圏域への情報発信により、観光入込客の増加が図れたと考えられる。 ・雲南市さくら祭り事業についても、情報発信や観光入込客の増加に大きく寄与した。
② 観光資源の開発・充実	・雲南市観光協会が市内観光事業者との連携により実施したヤマタノオロチ伝承ツアーにより、県外観光客の増加が図られた。県外からの問い合わせ等も多数あり、島根県が推進する古事記編纂1300年関連事業の効果もあり、関心が非常に高かった。
③ 受け地づくりの推進	・雲南市観光協会による観光ガイド育成講座により登録ガイドを16人増やすことができ、全体で27人の登録者数となった。これによりガイドによる受け地での活動が充実した。
④	
⑤	

6. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)
施策	○観光入込客の増加を観光消費額の増加につなげていく必要がある。 ○尾道松江線開通のメリットを活かし、雲南市の地域資源を活かした取り組みを進めていく必要がある。 ○古事記編纂1300年を契機とした取り組みが一過性に終わらないよう継続して取り組んでいく必要がある。	○観光入込客の増加を観光消費額の増加につなげていく。 ○尾道松江線開通のメリットを活かし、雲南市の地域資源を活かした取り組みを進めていく。 ○古事記編纂1300年を契機とした取り組みが一過性に終わらないよう継続して取り組んでいく。
基本事業	① 情報発信の推進	○広島圏や関西圏での情報発信を重点的に取り組んでいくとともに、首都圏については、より効果的な手法を検討する。○島根県の神話や鉄に関する情報発信に合わせて情報発信していく。○「道の駅」の連携を深めて、効果的な情報発信を行っていく。○雲南市PR大使の設置による情報発信を行っていく。
	② 観光資源の開発・充実	○古事記編纂1300年事業による効果が継続していくよう、ヤマタノオロチ伝承地に関する整備を進める。 ○神話や鉄、桜、螢、さくらおろち湖周辺などを活用した観光ツアーを企画・実施し、内容の充実に向けていく。 ○農・商・工連携による魅力的な特産品開発を観光振興に活かしていく。
	③ 受け地づくりの推進	○登録された観光ガイドの研修を充実させていく。○観光タクシーのガイド機能をより充実させていく。○市民一人ひとりがおもてなしの心を培っていくため、観光ガイド養成講座に引き続き取り組んでいく。○老朽化している観光施設の修繕を計画的に進めていく。○尾道松江線沿線活性化検討会議の設置により連携を図っていく。○出雲空港と雲南市を繋ぐ連絡タクシー事業を行っていく。
	④	
	⑤	